

各報道機関 様

KJ00463407
2025年6月19日

発信課	消防本部総務課消防団担当
担当者	宮本 旭
連絡先	電 話 74-3249／内線87811243
	F A X 33-1191
	E-mail shobodan@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和7年6月29日 8時45分 ～ 令和7年6月29日 12時00分
発表項目 (行事名)	令和7年度旭川市消防団消防訓練大会
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	1 目的 消防諸般の要求に応えるために、消防団員として日頃から訓練を重ねた規律及び部隊活動の成果を示すとともに、分団相互の融和協調を高め、旭川市消防団の一層の団結を図ることを目的とする。 2 日時 令和7年6月29日（日）8時45分～12時 3 場所 旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター 4 主催 旭川市 5 協力 公益財団法人北海道消防協会 6 内容 小隊訓練、実践的ポンプ操法訓練
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道（取材）に当 たってのお願い	
備 考	

令和7年6月19日

報道機関各位

旭川市消防本部
総務課消防団担当課長

令和7年度旭川市消防団消防訓練大会の報道について（依頼）

このことについて、次のとおり開催しますので、報道いただきますようお願い申し上げます。

1 目的

消防諸般の要求に応えるために、消防団員として日頃から訓練を重ねた規律及び部隊活動の成果を示すとともに、分団相互の融和協調を高め旭川市消防団の一層の団結を図ることを目的とする。

2 日時

令和7年6月29日（日） 午前8時45分から午後0時00分

3 場所

旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター

4 主催

旭川市

5 協力

公益財団法人 北海道消防協会

6 内容

- (1) 8:50 開会式
- (2) 9:20 訓練開始（小隊訓練・実践的ポンプ操法訓練）
- (3) 11:50 閉会式

7 その他

詳細別添資料

(担当者)
旭川市消防本部総務課
消防団担当 佐藤・宮本
電話 (0166)74-3249
内線 811243

令和7年度旭川市消防団消防訓練大会次第（案）

1	入	場				8 : 4 5
2	開	会	式			8 : 5 0
(1)	開会宣言					
(2)	人員報告					
(3)	国旗掲揚					
(4)	黙祷					
(5)	市長挨拶	旭川市長	今	津	寛	介
(6)	来賓祝辞	上川総合振興局長	嶋	田	貴	洋 様
		旭川市議会議長	福	居	秀	雄 様
(7)	来賓紹介					
3	訓	練	開	始		9 : 2 0
(1)	小隊訓練（行進間）	1 1 隊				
(2)	実践的ポンプ操法訓練	1 0 隊				
	（小型ポンプ	7 隊）				
	（ポンプ車	3 隊）				
4	閉	会	式			1 1 : 5 0
(1)	優良分団表彰（実践的ポンプ操法訓練）	旭川市消防団長	古	里	一	朗
(2)	査閲官講評	旭川市消防長	河	端	勝	彦
(3)	大会長挨拶	旭川市消防団長	古	里	一	朗
(4)	国旗降納					
(5)	閉会宣言					1 2 : 0 0

大会実施概要（案）

1 目 的

消防諸般の要求に応えるために、消防団員として日頃から訓練を重ねた規律及び部隊活動の成果を示すとともに、分団相互の融和協調を高め、旭川市消防団の一層の団結を図ることを目的とする。

2 訓練意義

(1) 小隊訓練の意義

部隊活動の基礎を練成するもので部隊の団結力、規律、士気及び協同動作を向上させ、正確で軽快な部隊行動を訓練するとともに、指揮者の指揮能力を向上させる。

(2) ポンプ操法の意義

ホース延長やポンプ操作、放水、伝令要領など消火活動の基本となる一連の手順を安全、正確、迅速に行い、火災防御に万全を期するための基礎とする。

3 日 時

令和7年6月29日（日）午前8時45分から午後0時00分まで

4 場 所

旭川市東光27条8丁目 旭川市総合防災センター

4 主 催

旭川市

5 協 力

公益財団法人 北海道消防協会

6 大会役員

顧問	北海道消防協会	会 長	花 田 了 彰
名誉大会長	北海道消防協会	副会長	吉 川 英 一
名誉副大会長	上川地方支部	支部長	古 里 一 朗
	上川地区消防団長会	会 長	大 場 義 一
大会長	旭川市消防団	団 長	古 里 一 朗
副大会長	旭川市消防団	副団長	畑 山 義 裕
	旭川市消防団	副団長	砂 田 賢 一
	旭川市消防団	副団長	森 山 敏 治
	旭川市消防団	副団長	水 野 浩 夫
	旭川市消防団	副団長	高 島 康 夫
	旭川市消防団	副団長	松 下 博 之
	旭川市消防団	副団長	鎌 倉 秀 夫
	旭川市消防団	副団長	滝 川 岳 雪
査閲官	旭川市消防本部	消防長	河 端 勝 彦

7 入場行進

総指揮者 旭川市消防団 副団長 （ ）

8 大会参加車両、人員

旭川市消防団 35個分団、車両29台、消防団員631人（6月1日現在）

9 訓練種目

(1) 小隊訓練

(2) 実践的ポンプ操法訓練 (小型ポンプ・ポンプ車)

10 訓練出場分団

(1) 小隊訓練

実施順	1	Aコース	13分団	Bコース	30分団
	2	Aコース	16分団	Bコース	10分団
	3	Aコース	31分団	Bコース	8分団
	4	Aコース	17分団	Bコース	26・27分団
	5	Aコース	1・2分団	Bコース	22・24分団
	6	Aコース	女性分団		

(2) 実践的ポンプ操法訓練

実施順	1	Aコース	9分団 (小型)	Bコース	29分団 (小型)
	2	Aコース	25分団 (小型)	Bコース	18・19分団 (小型)
	3	Aコース	15分団 (小型)	Bコース	20・21分団 (小型)
	4	Aコース	33分団 (小型)	Bコース	23分団 (ポンプ車)
	5	Aコース	5分団 (ポンプ車)	Bコース	3・4分団 (ポンプ車)

11 その他

気象警報発令時または各種大規模災害発生時は、大会長の判断で訓練を中止する。